



ゴール前の大接戦。勝ったのはどっち？ 大堀小学校運動会（4ページに関連記事）

■ 今月の主な内容

- 行政情報ほっとらいん P.2
- ふるさと日記 P.4
- 紅梅荘が移転しました P.7
- 最上町職員採用試験のご案内 P.19
- 7月の行事予定 P.21

- ▶ 今月の納税は、**町県民税第1期**です。
- ▶ 最上町東日本大震災復興絆づくり支援事業
申請の締切は、**7月10日（火）**です。

東日本大震災復興「支縁」プロジェクト
「元気再生復興元年」キックオフイベント

もがみ
元気市

2012年
5.13

〈主な催し内容〉
・全国逸品復興支縁市・6次産業見本市・暮らしの安全安心展・防災防犯見本市
・ステージイベント／高山観音太鼓保存会、NPO法人よまなみ、NPO法人りょうぜん里山がっこう、黒澤餅搗き唄保存会、大谷大漁唄い込み保存会、ルリアール
・同時催し／東日本大震災と道路ハネル展 災害に屈しない丈夫なまちづくり講演会

東日本大震災から2年目を迎え、全町あげてさらなる復興支援に取り組もうと、町内外の関係団体が一堂に会した「もがみ元気市」が、5月13日にきらやか銀行最上町支店駐車場で開催されました。

元気市では、合唱や郷土芸能を中心にしたステージ発表や被災地を含む町内外からたくさんの逸品の展示・即売会などが行われ、1000人もの人々ににぎわいました。

〈主催〉
東日本大震災復興
「支縁」プロジェクト
実行委員会

〈共催〉
もがみまち逸品会

町では、被災地の皆さんとの「縁づくり」を重視した復興支援活動を推進するために、「支縁」を『支縁』として表しています。

町議会6月定例会で可決

最上町定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例

今年度、町は国の補助を受けて、空き家の改修工事を行い、住宅を希望する町内外の方に貸し出す事業（事業名／定住促進空き家活用事業）を計画しています。

この事業の実施にあたり、町、空き家所有者、利用者（入居者）のそれぞれが果たすべき役割や責務等の取り決めに定めた「最上町定住促進空き家活用住宅の管理運営に関する条例」が、町議会の6月定例会で可決されました。

空き家の現状として、老朽化による倒壊の危険性や落雪等により隣家や通学路に危険を生じさせるなど、一部の所有者による不適正な管理によって様々な問題が起っています。一方、社会情勢や家庭生活の多様化により、年々、町内に賃貸住宅を求め

る声が内外から寄せられています。本条例につきましては、空き家活用による定住促進を目標とするものですが、同時に、空き家の適正管理にもつながる側面を合わせ持っており、今後の空き家対策に大きく寄与するものであります。

※この条例に基づく空き家の改修件数は5棟です。



※本条例の全文は、町の公式ホームページでご覧いただけます。



写真の説明

- ①オープニングで高橋町長が力強く復興「支縁」においてキックオフを宣言
- ②高山観音太鼓保存会によるステージ
- ③大谷大漁唄い込み保存会(気仙沼市)から石山登さん(向町)に「最上町支部長」の認定証を伝達
- ④子ども達に大人気だった木工クラフトコーナー(NPO)りょうぜん里山がっこう・福島県伊達市)

